



ENEOS

2023年3月10日

各位

ENEOS株式会社

大口豊田SSにおける水素ステーションの開所について

当社（社長：齊藤 猛）は、2023年3月9日に、^{おおぐちとよた}大口豊田SS（愛知県丹羽郡）に水素ステーションを開所しましたので、お知らせいたします。本ステーションは、次世代自動車振興センター「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」の採択を受けており、当社48カ所目、中京圏で9カ所目の商用水素ステーションとなります。

本ステーションは、ダウンサイジング・省スペース・ローコスト化を目指して開発したパッケージ設備を設置することで、水素ステーションの建設コストや運営に必要な用地面積の低減※を実現しました。名神高速道路小牧インターに近いことから、高速道路を利用する燃料電池自動車（FCV）ユーザーの利便性向上にも貢献いたします。

当社は今後も、水素ステーションネットワークの拡充に加え、省スペース型の設備や、再生可能エネルギーを活用した水電解による水素製造装置などの積極的に投入により、水素の活用を通じてカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

※ 当社のSS併設型オフサイト水素ステーション（12カ所）の平均面積：470㎡、パッケージ設備の必要面積約200㎡

<ステーション概要>

開所日	2023年3月9日
所在地	愛知県丹羽郡大口町豊田2丁目122番
運営者	株式会社ENEOSジェネレーションズ
敷地面積	2,976.55㎡（うち水素ステーション684.24㎡）
供給方式	オフサイト方式（圧縮水素をトレーラーで配送）

<ステーション外観>



以上